

日本放送協会 理事会議事録

(平成26年10月 7日開催分)

平成26年10月24日(金)公表

<会議の名称>

理事会

<会議日時>

平成26年10月 7日(火) 午前9時00分～9時20分

<出席者>

靱井会長、堂元副会長、塚田専務理事、吉国専務理事、石田専務理事、
木田理事、福井理事、下川理事、森永理事、井上理事、浜田技師長
上田監査委員

<場所>

放送センター 役員会議室

<議事>

靱井会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

1 審議事項

- (1) 第1222回経営委員会付議事項について
- (2) 公益財団法人放送番組センターへの出捐について

2 報告事項

- (1) 考査報告
- (2) 放送番組審議会議事録(資料)

議事経過

1 審議事項

(1) 第1222回経営委員会付議事項について

(経営企画局)

10月14日に開催される第1222回経営委員会に付議する事項について、審議をお願いします。

付議事項は、議決事項として「公益財団法人放送番組センターへの出捐について」、審議事項として「次期経営計画について」です。

(会 長) 原案どおり決定します。

(2) 公益財団法人放送番組センターへの出捐について

(関連事業局)

公益財団法人放送番組センター（以下、「センター」）への出捐（しゅつえん）について、審議をお願いします。

センターは昭和43年に設立され、平成元年の放送法改正を受けて3年度から、NHK、民放、横浜市の拠出による基金の運用益を財源として、放送番組を収集・保管して一般の視聴者に供する「放送番組ライブラリー事業」を行っています。

しかし、低金利の中で、基金の運用益のみによるライブラリー事業の運営が困難となったことから、センターは17年度以降、NHKと民放に毎年出捐を要請しています。NHKは、センターの社会的意義を踏まえ、民放と歩調を合わせて出捐要請に応じてきました。

19年度以降、NHKには毎年8,085万円の出捐要請がありましたが、センターは、24年度に公益財団法人に移行したことを契機に「向こう5年間の事業方針」を決定し、24年度の出捐額に比べ、25・26年度は10%削減、27年度以降は30%削減と、段階的に削減することとしました。26年度は、昨年度と同額の7,276万5,000円の出捐要請がありましたので、この金額を出捐したいと考えます。NHKと民放との出捐額負担比率は、過去の出捐額および放送番組の保存割合を踏まえ、NHK35%、民放65%となっています。

本件が了承されれば、10月14日開催の第1222回経営委員会に諮り、議決が得られれば、総務大臣に認可を申請します。

(会 長) 原案どおり了承し、次回の経営委員会に諮ります。

2 報告事項

(1) 考査報告

(考査室)

平成26年8月25日から9月30日までの間に放送した、ニュースと番組について考査した内容を報告します。

この期間に、国内放送番組では、ニュース24項目、番組95本の考査を実施しました。

ニュースの主な項目としては、長野と岐阜の県境にある御嶽山が噴火し、多数の犠牲者が出たこと、第2次安倍改造内閣が発足したこと、朝日新聞社社長が東京電力福島第一原発事故の「吉田調書」を巡る記事を誤報と認め、いわゆる従軍慰安婦の問題を巡る記事の訂正が遅れたことも併せて謝罪したことなどがありました。

番組では、豪雨や猛暑などの異常気象が続くなか、将来起こりうる巨大災害の脅威を地球に備わるダイナミックな変動メカニズムから読み解くシリーズ、NHKスペシャル 巨大災害 MEGA DISASTER 地球大変動の衝撃 第1集「異常気象 “暴走”する大気と海の大循環」(全4回 8月30日放送)、臨死体験を脳科学研究から読み解くことで、人の心の謎を解き明かそうとする作家・立花隆さんの思索の旅を追った、NHKスペシャル「臨死体験 立花隆 思索ドキュメント 死ぬとき心はどうなるのか」(9月14日放送)、Eテレの「ハートネットTV」で3夜連続で特集した「20代の自殺」と連動し、死にたい思いを抱える20代の男女と自殺を考えたことのあるゲストが語り合った、「ハートネットTV+『生きるためのテレビ』」(総合テレビ 9月13日放送)などの番組を考査しました。

また、国際放送では、外国人向けテレビ国際放送「NHKワールドTV」の番組5本の考査を実施しました。考査したのは、アメリカで行われた国連総会・気候サミットに安倍首相が出席し、国連総会で一般討論演説を行ったことを紹介した「NEWSLINE」(日本時間9月26日放送分)や、オーストラリア人男性が北海道530kmを自転車と列車で旅をして、雄大な風景や地域の人たちとの交流を楽しみながら、歴史

や文化を紹介した「CYCLE AROUND JAPAN SUMMER A Journey Across Hokkaido」（日本時間9月7日）です。

考査の結果、これらの一連のニュース・番組は、放送法、国内番組基準、国際番組基準等に照らし、妥当であったと判断します。

（2）放送番組審議会議事録（資料）

編成局と国際放送局から、中央放送番組審議会、国際放送番組審議会、全国の地方放送番組審議会（関東甲信越、近畿、中部、中国、九州沖縄、東北、北海道、四国）の平成26年7月開催分の議事録についての報告（注）。

注：放送番組審議会の内容は、NHKホームページの「経営情報」のなかに掲載しています。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

平成26年10月21日

会 長 靱 井 勝 人